



ふるさと笠松の「ちょっといい話」第103号



ボランティア・スピリット賞を受賞！

両校のダブル受賞おめでとうございます！

「笠松中学生徒会」と「岐阜工業高等学校 化学研究部」

笠松中学校と岐阜工高が「ボランティア・スピリット賞」をダブル受賞した報告会が、11月12日に役場で行われました。ボランティア賞等についての説明受賞の内容につきましては裏面をご参照下さい。

全国から1807通の応募があり、東海北陸地区では21校が受賞し、県内では8校が受賞しました。

笠中学生徒会長の石原悠翔君の全体進行で、3年武田匡史君と大蔵望美さんが活動について発表しました。町のイベントに、多数の中学生がボランティアとして積極的に参加している様子がよく分かりました。

また、岐阜工業高等学校の化学研究部の代表者の高木都美さんと松岡佑依さんが、自分たちで作った光るエコ消しゴムを用いて活動する様子などを発表しました。

平成19年に「笠松町道徳のまちづくり条例」が制定されてから8年目を迎え、次世代を担う若者に、しっかりとボランティア精神が育っていることを実感した賞でした。



報告会に訪れた住民の方々と、生徒の皆さん
(笠松役場4階大ホール)



↑町の行事に多くの生徒が参加していることを報告



↑報告会に出席された笠松中学校の皆さん



↑光る消しゴムでハートマークを作りました。



↑地元の新聞社から取材を受けました。